

授業科目	解剖学				
担当者	柴田雅朗				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 授業目的・内容

授業目的：言語聴覚士を志す学生に必要な解剖学の基礎を学ぶ。

授業内容：毎回、資料を配布して学習する。主に、神経系および呼吸器系を中心に解説し、要所でそれらを理解するための関連事項を学ぶ。

■ 到達目標

人体構造の基礎的知識を身につけ、分からないことは自ら調べ理解し、説明することが出来るようになる。

■ 授業計画

- 第1回 神経系の基礎：神経系の区分、神経細胞、シナプス、刺激の伝達方向、灰白質と白質、神経節、神経膠細胞、脳の発生
- 第2回 中枢神経系1：脊髄、腰椎穿刺、脳幹（中脳、橋、延髄）
- 第3回 中枢神経系2：間脳、大脳（溝と葉、島、機能局在、大脳辺縁系、パペッツ回路）
- 第4回 末梢神経系：脊髄神経、デルマトーム、自律神経（交感神経と副交感神経）、脳神経
- 第5回 脳室系：髄膜、脳脊髄液 脈管系：心臓から出入りする血管、大動脈弓から出る枝、胸大動脈と腹大動脈から出る枝、脳に分布する動脈、ウイリス動脈輪、頸動脈小体と頸動脈洞、脳梗塞で起こる疾患
- 第6回 鰓弓：鰓弓から形成される骨・軟骨、神経、筋、器官 頭部の筋：表情筋、咀嚼筋 口腔：唾液腺、舌、咽頭
- 第7回 胚葉：三胚葉から形成される組織・器官 呼吸器系：鼻腔、副鼻腔、気管および気管支、肺
- 第8回 発声：喉頭、喉頭筋、声帯、支配神経 嚥下：嚥下に働く筋、支配神経

■ 評価方法

筆記試験 100%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

授業で学習した内容について、配布資料や図書館蔵書のネッター解剖学アトラスを用いて、必ず復習を毎回行い、分からない内容がないようにする。分からないことは自分で調べ考えてみて（この行為が非常に重要）、解決がつかない場合は遠慮なく教員に質問する。

予習は余裕があればするが、取えてする必要はない。それよりも復習を充実させる。

■ 教科書

■ 参考図書

■ 留意事項

毎回、授業資料を配布しますが、随時、授業を聞きながら書き込みをして下さい。

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。